

## 【平成 25 年 3 月期 アナリスト・機関投資家向け決算説明会】 質疑応答概要

※説明会における主な質疑応答をご紹介します。なお、文中は年度で表記しております。

<日 時> 2013 年 5 月 21 日(火) 10:00~11:30  
<出席者> 明治ホールディングス(株) 代表取締役社長 浅野 茂太郎  
Meiji Seika ファルマ(株) 代表取締役社長 松尾 正彦  
(株)明治 代表取締役社長 川村 和夫  
明治ホールディングス(株) 取締役常務執行役員 平原 高志

### 【全体】

Q1) 13 年度目標と中期経営計画最終年度の 14 年度目標にかい離があるが、達成の見通しは。

A1) 14 年度の目標は現段階で変更していません。急激な円安・株高に伴う環境変化(原材料高騰など)はありますが、食品では、乳製品をはじめ各事業の増収と現在取り組んでいるコスト改革などで吸収するよう努めます。医薬品では、研究開発のスピードアップも図りながら、主に国内の増収で目標を達成していく考えです。

### 【食品セグメント】

Q2) プロバイオティクスヨーグルトの今後の動向は。

A2) プロバイオティクスヨーグルトは、お客さまの健康志向を背景に需要が拡大しており、当社の先進性を最も発揮できる分野ですので、引き続き強化に努めてまいります。「R-1」は生産能力を強化してきましたが、お客さまのご要望にお応えするよう、さらに取り組んでまいります。

Q3) 株式会社 明治(=食品セグメント)の 13 年 4 月の組織変更の目的は。

A3) 乳製品・菓子・健康栄養など主力ユニット間の一部事業の重複を整理し、また関連会社の配置を見直して、全体として営業効率や収益性の改善を図ることを目的としています。11 年 4 月の事業再編において旧明治製菓の食品事業と旧明治乳業の各事業を再編しましたが、その後 2 年を経て今回の変更を行いました。

Q4) 菓子事業、健康栄養事業の収益改善は進んでいますか。

A4) 両事業とも活性策やコスト低減を推し進め収益改善に努めています。菓子は市場自体が伸び悩み中、競争激化や販促費の増加などもあり収益環境は厳しいですが、多様な収益改善策に取り組んでいます。健康栄養も同様に主力商品のリニューアルなどで販売を活性化するとともにコスト低減策を進めています。

Q5) コストアップ要因(原材料高など)の対策として、13 年度計画には値上げを織り込んでいますか。

A5) 一部の業務用製品などを除き値上げは織り込んでいません。ただし今後の原料価格の動向によっては考慮せざるを得ない場合もあると考えています。

Q6) 乳価交渉はどのように進んでいますか。

A6) 現在交渉中ですので、コメントは差し控えます。

### 【医薬品セグメント】

Q7) 13 年度の医薬品事業(=Meiji Seika ファルマ株式会社)の販売間接費増加の理由は。

A7) 主にMRの増員に伴う管理費の増加、および普及費用の増加を見込んでいます。